

第1号議案

令和5年度事業報告書

I 全般の概況

本年度は第1に、役員等がその役割と責任を認識すると共に、「定款」及び「役員等の報酬等並びに費用に関する規程」他規程類を遵守し、令和5年度事業計画及び正味財産増減予算書に基づき適正な運営を実施した。

第2に、国際社会が求める国際法研究並びに人材の育成強化を柱とする公益事業活動の活性化に注力し、(公1)表彰事業「安達峰一郎記念賞」においては2名の受賞者、(公2)研究助成事業「安達峰一郎国際法奨学生」は5名を選出し、所期を上回る成果を得た。

また、調査研究事業のうち令和3年度より5ヶ年計画で進めている収蔵絵画の修復作業は順調に進んだ。さらに、(公3)広報事業等では、適宜、公益事業及び安達峰一郎の業績等に関する情報発信を行った。

第3に、基本財産のうち償還期限が8年未満となった保有国債の処分及び再投資により、財政は一段と良化した。

II 事業展開

1 公益事業 1 表彰事業

(1) 「安達峰一郎記念賞」(第56回)

「安達峰一郎記念賞」選考委員会(令和5年9月8日開催)において、推薦のあった記念賞候補者4名の研究業績について慎重審査の結果、第56回「安達峰一郎記念賞」に以下の2名が選定され、11月6日に外務省、国際法協会、国際法学会、歴代受賞者、マスコミ等関係者多数出席のもと贈賞式を開催し、表彰状、正賞「安達峰一郎記念銀製メダル」、副賞「金80万円」を授与した。

受賞者 藤澤 巖 氏 (千葉大学大学院 社会科学研究院教授)

研究業績(著書) 「内政干渉の国際法」-法の適用問題への歴史的視座-

2022年6月28日 刊行

受賞者 高橋 力也 氏 (横浜市立大学 国際教養学部准教授)

研究業績(著書) 「国際法を編む」-国際連盟の法典化事業と日本-

2023年1月25日 刊行

2 公益事業2 研究助成事業・調査研究事業

(1) 「安達峰一郎国際法奨学生」(第59回)

「安達峰一郎国際法奨学生」選考委員会(令和5年4月28日開催)において、推薦依頼先より推薦のあった9名の候補者の研究課題レポートについて慎重審査の結果、令和5年度国際法奨学生として以下の5名が選定され、月額6万円(年額72万円)の給付型奨学金を支給した。

氏名	(所属)	研究課題
荒井 誉史	(一橋大学法科大学院 専門職課程)	国際人権法と外国人の公務就任権
尾崎里加子	(東京大学大学院法学政治学研究科 総合法政専攻修士課程)	オンブズパーソン制度の制度的変化： 機密情報へのアクセス拡大と取り扱いにおける制約
川上 愛	(一橋大学大学院法学研究科 博士課程)	ユス・ポスト・ベルム： 戦後における国際人道法と国際人権法の交錯
服部 莉奈	(上智大学大学院法学研究科法律学専攻 博士課程)	WTO紛争解決制度の司法積極性/消極性に関する考察及び その司法謙抑性の検討
劉 佳	(早稲田大学法学研究科 博士課程)	企業における人権デューデリジェンス—国際法規範の実施に 関する日本、中国、イギリス三ヶ国の国内法制の比較研究—

令和6年2月20日、「国際法奨学生研究報告会」を開催し、奨学生4名(1名欠席)各人の研究成果の報告に対し、財団顧問の柳原正治氏、薬師寺公夫氏より懇切な講評がなされた。

(2) 研究助成

一般社団法人国際法協会日本支部へ20万円、東京大学国際法研究会に10万円の研究助成を継続した。

(3) 収蔵絵画の修復

昨年度に引き続き、東北芸術工科大学准教授・中右恵理子氏と紙本修復家・坂本雅美氏に修復作業を委託し、Emile Baes「裸婦」、Francois「風景」、Rossier「静物」の油彩作品3点とKnopff「ペレアスとメリザンド」と「騎士と嘆く女」、Jule Van de Leene「雨の日」の紙作品3点の計6点の修復が完了した。

また、Emile Baesによる安達峰一郎の肖像画(2000mm×1500mm)とAuguste Emile Rene Menard「Printemps(春)」(2190mm×1630mm)の大作2点等の修復を適切な作

業環境の下で進めるため、東北芸術工科大学と令和8年3月31日までの3ヶ年の業務委託契約を令和5年7月21日付で締結し、Frantz Courtens「風景」(660mm×950mm)を加えた油彩作品3点、長谷川路可「Nature Morte (バラの花)」等の日本人画家の紙作品4点の計7点について同大学で修復作業を開始した。中右氏と同大学講師・元喜載氏が担当する。

一方、令和7年度末に予定する全43点の修復完了を控え、一部の作品を展示する環境を整えるため、専門業者に依頼し財団事務所内に遮光カーテンと展示用パネルを設置した。

(4) 研究資料の整備及び提供

トランクルーム Quraz に保管している書籍類のリスト整備を継続し、財団ホームページ上で追加開示を行った。他方、国会図書館憲政資料室並びに外務省外交史料館に寄贈されている国際連盟、常設国際司法裁判所 (PCIJ) 等の関連資料について、実際の公開状況を把握するための調査を行った。また、財団の断片的な所蔵資料を補完、包含する国際連盟関連議事録や PCIJ 判決、勧告的意見等の公式文書について国際連合と国際司法裁判所 (ICJ) による順次公開が始まったことを確認し、それらを踏まえた情報提供の検討に入った。

3 公益事業3 広報事業等

(1) ホームページを活用した広報の充実

- ・ 4月1日【朝日新聞】朝刊
 - ・ 財団顧問、柳原正治氏の著書『帝国日本と不戦条約—外交官が見た国際法の限界と希望』(NHKブックス)の書評
(評者：ノンフィクション作家の保坂正康氏)を掲載
- ・ 4月9日【読売新聞】朝刊
 - ・ 財団顧問、柳原正治氏の著書『帝国日本と不戦条約—外交官が見た国際法の限界と希望』(NHKブックス)の書評
(評者：政治学者の井上正也・慶応大学教授)を掲載
- ・ 10月23日【毎日新聞】夕刊
 - ・ 「国際法研究の優れた業績を顕彰する第56回安達峰一郎記念賞贈賞式と受賞者」概要の紹介記事を掲載
- ・ 11月6日【山形新聞】
 - ・ 「第56回安達峰一郎記念賞贈賞式」を紹介する記事を掲載

(2) 国際法学会「国際法外交雑誌」への情報提供

「国際法外交雑誌」第3号(11月20日発行)誌上に「第56回安達峰一郎記念賞贈賞式」の概要を紹介した財団ホームページ上の記事へのアクセス方法を掲載

(3) 関係先ホームページとのリンク連携強化

安達峰一郎ゆかりの山形県内関係先との連携強化を図るため、安達峰一郎博士顕彰会（山辺町）並びに山形県立図書館「縣人文庫」の各ホームページと財団ホームページとの間で初めて相互リンクを設定した。

(4) 財団ホームページの新たなコンテンツの準備

ホームページ上で令和6年度より年次掲載をめざす企画「100年前の安達峰一郎」のため、素材となる一次資料、研究業績等の全般的な調査を行った。

(5) 関係機関への協力

- ① 令和5年10月24日 公益財団法人日本国際連合協会主催の国際平和と国連思想の普及に関する以下事業 i、ii に対し、それぞれ安達峰一郎記念財団理事長賞として、賞状及び記念の盾を贈呈した。

i 第70回「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」

九州文化学園高等学校 尾崎杏樹

ii 第63回「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」

京都教育大学付属小中学校 辻村桃子

- ② 安達峰一郎奨学賞（第46回）

山形県山辺町（安達峰一郎の出身地）の山辺中学校卒業生のうち、学業成績が特に優秀でかつ学校生活面において模範である者へ「安達峰一郎奨学賞」（安達峰一郎記念銅製メダル、賞状）を贈呈した。

山辺町立山辺中学校 大橋ゆい

4 事業収入

令和5年度の事業収入は、以下のとおり

「利付国債」国債3銘柄の運用益	9,266,000円
「投資有価証券」株式2銘柄の運用益	21,060,750円
みずほFG株式配当（5,429,750円）	
日本電信電話株式配当（15,631,000円）	
「特定資産受取利息」	26円
「雑収益」（普通預金利息）	87円
計	<u>30,326,863円</u>

※令和5年度臨時評議員会（令和6年3月22日開催）における

第1号議案[基本財産の一部処分及び再投資(案)]承認後実施した

「利付国債」2銘柄売却（636,266,739円）及び

再投資「利付国債」1銘柄購入（607,779,534円）による

「購入売却収支差額」流動資産へ 28,487,205円

5 令和5年度事業日程

- 令和5年 4月22日 一般社団法人国際法協会日本支部研究大会及び総会
25日 令和4年度監査
28日 国際法奨学生選考委員会
5月19日 第1回理事会
5月19日 研究助成金 交付
6月 6日 定時評議員会
6日 第2回理事会
19日 安達峰一郎博士顕彰会総会
7月21日 第3回理事会
8月26日 日本国際連合協会集いの夕べ
9月 8日 記念賞選考委員会
10月23日 日本国際連合協会主催「国際理解・国際協力のための高校生の
主張コンクール及び全国中学生作文コンテスト」
11月 6日 第56回安達峰一郎記念賞贈賞式
12日 山辺町第13回安達峰一郎世界平和弁論大会
15日 記念賞・奨学金制度活性化部会
12月 5日 第1回役員理事長懇談会
令和6年 1月26日 第2回役員理事長懇談会
2月20日 国際法奨学生研究報告会
3月13日 第4回理事会
16日 安達峰一郎奨学賞贈呈
22日 臨時評議員会

以上